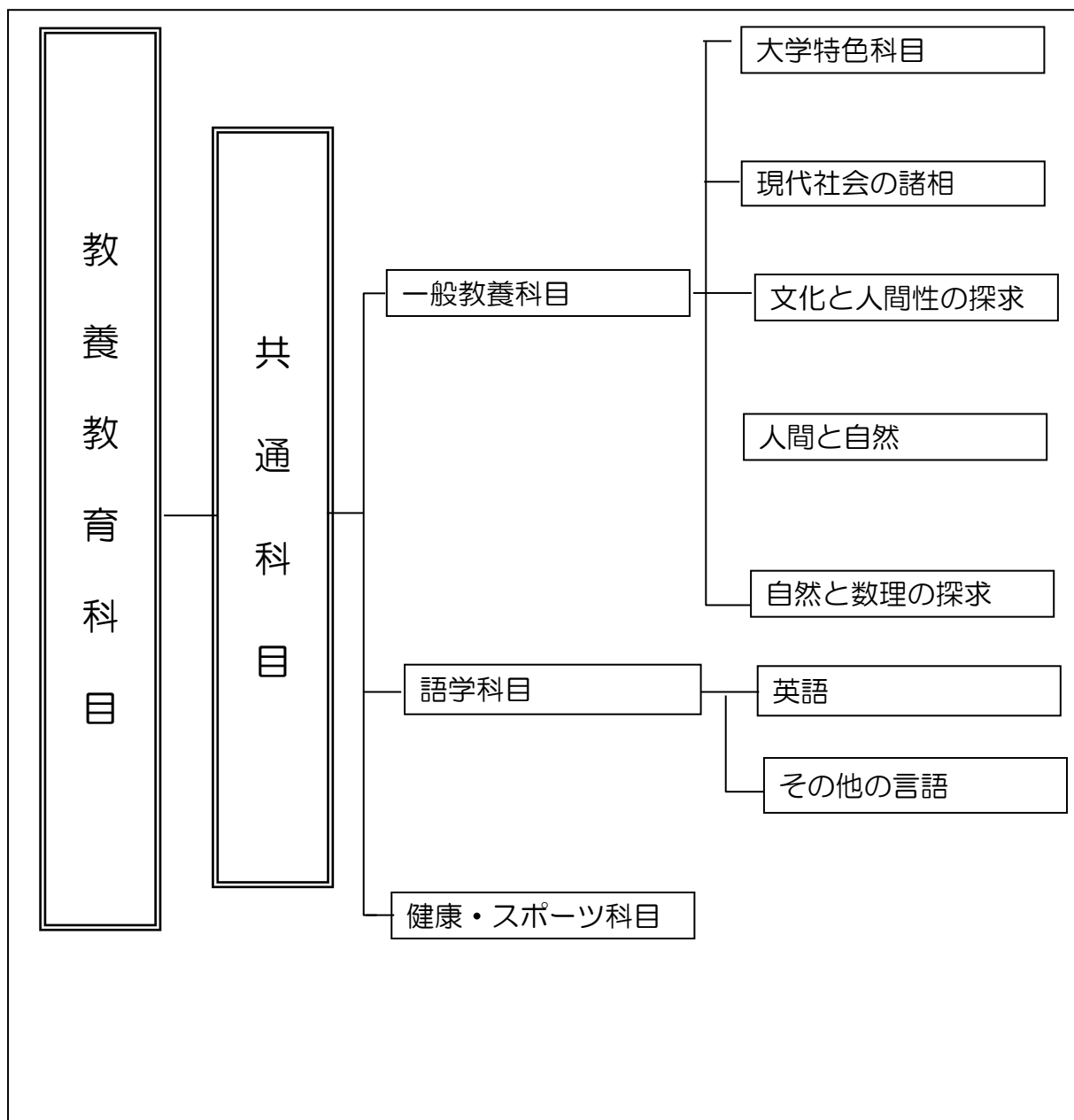


3 教養教育科目の概要

「教養教育科目」は7学部共通の授業科目群で構成されています。

このうち「大学特色科目」には、『初年次教育科目』が設置されています。全学の教育力を結集した初年次教育科目を積極的に選択してください。

また、それぞれの区分において履修すべき科目および単位数、必修・選択の別などについては、所属学部の履修規程に定められています。詳細は後掲「6 教養教育科目における修得必要単位数」及び専門教育履修要項を参照してください。



<初年次教育について>

本学では、一般教養科目の大学特色科目区分に初年次教育科目を配置しています。社会人としての基礎を学ぶ科目となりますので、ぜひ積極的に履修してください。

(科目概要)

「社会人になるA、B」・・・社会人基礎力の基本を学び、キャリア・デザインにつなげる科目

5 教養教育カリキュラム

下記一覧表中、「●」＝必修科目、「○」＝選択科目、「自」＝自由科目、*印＝指定科目
 「●」「○」「自」いずれも記載がない科目は、その学部のカリキュラム外の科目となりますので、履修できません。

【履修に関する注意事項】

- (1) 一般教養科目（大学特色科目、現代社会の諸相、文化と人間性の探求、人間と自然、自然と数理の探求）及び語学科目（英語）は抽選対象科目のため、履修登録の方法が通常とは異なりますので注意してください。
- (2) 自由科目は進級・卒業要件の最低必要単位数には算入されませんが、他の選択科目と同様に履修し、試験に合格すれば単位を修得することができます。
- (3) 履修登録者数が少数の場合、非開講となる場合があります。
- (4) 初年次における語学科目（英語）は、各学期、原則として4単位を超えて履修することはできません。

(1) 授業科目及び配当年次、単位数

一般教養科目 大学特色科目

(抽選対象科目)

授業科目[提供学部・部署] (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
社会人になるA	}	1	前	2	○	前期2クラス開講
社会人になるB						
初年次						
近世名古屋の歴史	講義	1	後	2	○	
起業家になる	講義	1	後	2	○	集中講義
持続可能な社会と私たち	講義	1	前	2	○	
ESDと地域の環境	講義	1	後	2	○	中部ESD拠点連携講義
次世代エネルギーワークショップ	講義	1	前	2	○	集中講義
ソーシャル・デザイン実践編	講義	1	前	2	○	集中講義

一般教養科目 現代社会の諸相

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
日本国憲法	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
なぜ憲法が必要なのか	講義	1	前	2	○	
現代社会と法	講義	1	後	2	○	
人と法と医療	講義	1	後	2	○	
経済学：経済のしくみ	講義	1	前	2	○	
経済学：経済と社会	講義	1	前	2	○	
経済学：経済学の考え方	講義	1	前	2	○	
経営学：企業と社会、個人の関係	講義	1	後	2	○	
経営学：企業活動の諸相	講義	1	後	2	○	
経営学：組織を取り巻く諸環境について	講義	1	後	2	○	
社会学A	講義	1	後	2	○	
社会学B	講義	1	後	2	○	
社会学C	講義	1	後	2	○	
環境行動学と情報リテラシー	講義	1	前	2	○	
平和論	講義	1	後	2	○	
私たちの暮らしと政治・行政・地方自治	講義	1	後	2	○	
国際政治	講義	1	前	2	○	
シティズンシップ入門	講義	1		2	○	2025年度 非開講
キー・コンピテンシー	講義	1		2	○	2025年度 非開講

一般教養科目 文化と人間性の探求

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
人類学	講義	1	前	2	○	前期2クラス開講
日本語コミュニケーション	講義	1	後	2	○	
囲碁に学ぶ	講義	1	後	2	○	日本棋院との連携講義
東ヨーロッパの文化と歴史	講義	1	後	2	○	
欧州史の中の北欧史	講義	1	後	2	○	
文化に見る歴史	講義	1	後	2	○	
アメリカ史入門	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
都市と地域構造の地理学	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
音楽と文化	講義	1	前	2	○	
自分とみんなで考える哲学	講義	1	前	2	○	
心理学概論	講義	1	後	2	○	
心理学入門	講義	1	後	2	○	
現代教育の諸相	講義	1	後	2	○	
次世代育成と地域の課題	講義	1	後	2	○	
デジタル時代の人文学	講義	1	後	2	○	
宗教学入門	講義	1	前	2	○	
日本の宗教の歴史と文化	講義	1	後	2	○	

一般教養科目 人間と自然

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
科学史	講義	1	後	2	○	
都市と自然	講義	1	前	2	○	
リハビリテーション概論	講義	1	後	2	○	

一般教養科目 自然と数理の探求

(抽選対象科目)

授業科目 (副題)	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
宇宙のなりたち	講義	1	後	2	○	
植物とバイオテクノロジー	講義	1	前	2	○	
エネルギーのサイエンス	講義	1	後	2	○	
バイオサイエンス入門	講義	1	後	2	○	
情報と数理の世界	講義	1	後	2	○	
地球史入門	講義	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
地域生態学	講義	1	後	2	○	

授業科目		授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
A	IS: Community	演習	1	前後	1	○	区分Aの科目は各学期の〔前半〕〔後半〕で、それぞれ全8回で完結します。
	IS: Social Justice	演習	1		1	○	
	IS: Life & Work	演習	1		1	○	
	IS: Health & Well-being	演習	1		1	○	
	IS: The Arts	演習	1		1	○	
B	AE: Make a Difference in Your Community	演習	1	前後	2	○	
	AE: Interact Internationally	演習	1		2	○	
	AE: Improve Life Skills	演習	1		2	○	
	AE: Raise Health/Environmental Awareness	演習	1		2	○	
	AE: Produce a Movie	演習	1		2	○	
C	CS: Presentation	演習	1	前後	2	○	英語力調査 (TOEIC L&R IP) の結果に基づき熟度別クラス編成を行います。
	CS: Grammar and Usage	演習	1		2	○	
	CS: TOEIC Preparation	演習	1		2	○	
	CS: Writing	演習	1		2	○	
D	EM: World News	演習	1	前後	2	○	
	EM: Popular Culture	演習	1		2	○	
	EM: Reading for Inspiration	演習	1		2	○	
	EM: Online Articles and Videos	演習	1		2	○	

《英語プログラム内容紹介》

◆ **区分A : Issues in Society (Lectures & Discussion)**

◆ **区分B : Action in English**

ネイティブ教員が担当し、授業はすべて英語で行われます。概ねTOEIC 500点以上の学生を想定した授業を行います。

スコアは目安として提示しているものであり、英語力調査 (TOEIC IP) のスコアが500点未満だと受講できないということではありません。興味、学ぶ意欲のある学生は、ぜひチャレンジしてください。

◆ **区分C : Core Skills in English**

CS: Grammar and UsageとCS: TOEIC PreparationはTOEIC IPのスコアを基にした習熟度別クラス編成となります。CS: PresentationとCS: Writingはネイティブ教員が担当します。

◆ **区分D : English through Media**

科目 (クラス) によってTOEIC推奨スコアが提示される場合がありますので、科目選択の参考にしてください。

* <英語力調査 (TOEIC L&R IPテスト) について>

本学では、学生の英語コミュニケーション能力を測るため、全学部1年生を対象とした「英語力調査 (TOEIC L&R IPテスト)」を4月当初に実施しています。テスト結果は、1年次における教養英語科目 (区分 C) のクラス編成に使用します。

TOEIC (Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。英語力を客観的に証明する指標として進学や就職など様々な場面で活用されています。本学で実施しているTOEIC IPテストとは、TOEICと同様の試験内容のテストを本学主催で行うものです。

語学科目 その他の言語

授業科目	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
ドイツ語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
ドイツ語初級2	演習	1	後	2	○	
フランス語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
フランス語初級2	演習	1	後	2	○	
中国語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
中国語初級2	演習	1	後	2	○	
韓国語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
韓国語初級2	演習	1	後	2	○	
スペイン語初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
スペイン語初級2	演習	1	後	2	○	
日本手話初級1	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
日本手話初級2	演習	1	後	2	○	
ポルトガル語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
ロシア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
イタリア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講
アラビア語入門	演習	1	前後	2	○	前期・後期ともに開講

健康・スポーツ科目

授業科目	授業形態	配当年次	開講期	単位数	授業科目	備考
*健康・スポーツ科学	講義	1	前	2	●	

6 教養教育科目における修得必要単位数及び進級要件

2025 年度入学生にかかる教養教育の最低修得必要単位数は以下のとおりです。

データサイエンス学部

ア 修得必要単位数

区 分		科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目		
共通科目	一般教養科目	大学特色科目		英語 6 単位、健康・スポーツ科目 2 単位以外に 16 単位 (b 参照)
		現代社会の諸相		
		文化と人間性の探求		
		人間と自然		
		自然と数理の探求		
	語学科目	英語	6 単位 (a 参照)	
		その他の言語 (c 参照)		
健康・スポーツ科目	2 単位	健康・スポーツ科学 (2)		
合 計		24 単位		

※必修科目については各科目区分に科目名 (単位数) を記載しています。

- 外部機関が実施する検定試験 (実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL) の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大 4 単位まで認定を受けることができます。詳細は p. 16 を確認してください。
- 英語以外の語学科目 (その他言語) についても、積極的に履修することが望ましい。
- それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
- 単位互換事業により他大学において修得した単位は、教授会の議を経て 2 単位まで修得科目の内容に応じて一般教養科目に算入することができます。

イ 4 年次への進級要件

3 年次終了時において、次の表に示す単位を修得していなければ、4 年次に進級することができません。

区分	最低必要修得単位数
教養教育科目	表アに掲載している必要単位数のうち 20 単位

※英語と健康・スポーツ科目の必要単位は 3 年次終了時までには修得することが望ましい。

※これは教養教育における進級要件です。

専門教育にも同様に進級要件が設けられており、進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件についてはデータサイエンス学部「専門教育履修要項」を参照してください。